

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2024.10.19

第 1120 回放送分『眼科疾患』3 回目

ゲスト：土居範仁ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは、「眼科疾患」をテーマにお送りしています。
お話は、鹿児島県医師会 土居範仁（どい のりひと）ドクターです。
土居さん、どうぞよろしくお願いいたします。

土居範仁Dr.

よろしくお願いいたします。

二見いすず

先週は、白内障についてお話しいただきました。
主な原因は加齢によるもので、検診などで防げるものではないというお話でした。
初期のうちは薬によって進行を遅らせることができる場合がありますが、薬で治すことはできないので、見にくく生活に不自由が生じたら手術が必要になるというお話を伺いました。今週は何について教えていただけますか。

土居範仁Dr.

今週は緑内障についてお話しします。
緑内障は日本人の失明原因の第一位となっている恐ろしい病気ですが、早期に発見して適切に治療を行えば、生涯視野と視力を保つことができます。

二見いすず

そもそも緑内障というのは、どのような病気なのでしょうか？

土居範仁Dr.

緑内障は、眼圧によって目の神経、視神経が傷んでしまう病気です。
死んだ神経を元に戻すことはできないので、進行して見えにくくなってからでは、手遅れです。
ですから、先ほどお伝えしたとおり、早期発見と適切な治療がとても大切になります。

二見いすず

早期発見が大切ということですが、自分自身で気づくことは難しいのでしょうか？

土居範仁Dr.

進行がゆっくりなので、かなり進行するまでは気づきにくい病気です。

しかも私たちはふだん両目でものを見ているため、一方の目の視野や視力の異常が生じて、反対の目で補ってしまうので、余計に気づきにくいのです。

二見いすず

自覚症状がないということは、やはり検診が大切ということなんですね。

土居範仁Dr.

はい。緑内障は中高年の方に起こる代表的な目の病気のひとつです。

「問題ない」とご自身では思っている、定期的に検診に行き、眼底検査を受けることをおすすめします。

二見いすず

眼底検査ですね。こちらは何歳くらいから定期的に検査したほうがいいのでしょうか？

土居範仁Dr.

40歳を過ぎたら検査することをおすすめします。

まったく自覚症状がなくても、眼底検査で初期の緑内障を発見できます。

この時期に、適切な治療を行うことができれば、深刻な視機能障害を防ぐことができますので、繰り返しになりますが、定期的な眼底検査がとても重要です。

二見いすず

よく分かりました。今月は、「眼科疾患」をテーマにお送りしています。

お話は、鹿児島県医師会 土居範仁ドクターでした。

土居さん、ありがとうございました。

土居範仁Dr.

ありがとうございました。